

平成 30 年 1 月 31 日

環境大気研究等担当各位 殿

大気環境学会 環境大気モニタリング分科会

大気環境学会 環境大気モニタリング分科会 第 42 回研究会のご案内

謹啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、大気環境学会の環境大気モニタリング分科会では大気環境のモニタリングに関する研究会を開催しております。近年では、地震、台風、火山噴火など自然災害の発生頻度が増えており、特に火山の場合には、大気中に直接火山性ガスが排出されます。また、これらによる工場等の事故や建物の倒壊・解体に伴い、有害物質の環境中への飛散・漏洩も懸念されております。

そこで、当分科会では、これらの災害時における大気環境モニタリングに焦点を当て、国の動向と併せて、アスベスト、火山性ガスや化学物質の飛散・漏洩のモニタリングについて理解を深めることを目的として研究会を開催します。

万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。なお、研究会は大気環境学会の会員でなくても参加できます。

記

日 時 : 平成 30 年 3 月 16 日 (金) 13 時 30 分 ~ 17 時 (13 時受付開始)

会 場 : 江東区文化センター 大研修室

(東京メトロ東西線 東陽町駅 地図参照)

代表者 : 米持 真一 (埼玉県環境科学国際センター)

幹 事 : 賢持 省吾 (東亜 DKK) 小松 宏昭 (神奈川県環境科学センター)
齋藤 勝美 (イサラ研究所) 齋藤 伸治 (東京都環境科学研究所)
戸矢崎 保雄 (紀本電子工業) 内藤 季和 (千葉県環境研究センター)
中嶋 吉弘 (東京農工大学) 長谷川 就一 (埼玉県環境科学国際センター)
平野 耕一郎 ((公社)日本環境技術協会) 星 純也 (東京都環境科学研究所)
三笠 元 ((公社)日本環境技術協会) 水野 裕介 (堀場製作所)
森 育子 (大阪府立環境農林水産総合研究所)

テーマ名 : 災害時における環境モニタリングの実態と対策

演題名・講演者氏名 (敬称略)・所属 :

- (1) 災害時モニタリングにかかわる諸課題と将来像について / 鈴木規之 (国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)
- (2) 災害時における石綿飛散防止対策について / 廣田由紀 (環境省水・大気環境局大気環境課)
- (3) 2015年箱根山噴火における対応事例 / 十河孝夫 (神奈川県環境科学センター)
- (4) 災害時における化学物質等のモニタリング / 中島大介 (国立環境研究所環境リスク・健康研究センター)

(座長 : 米持真一)

参加費 : 無 料

資料代 : 1,000 円

定 員 : 80 名

参加ご希望の方は下記に E-Mail でお申し込み下さい。

環境大気モニタリング分科会 (<https://sites.google.com/site/atmospheremonitoring/>)

世話人 (事務局) 賢持省吾 (東亜 DKK)

E-Mail : jsae-monitoring@toadkk.co.jp

Tel : 042-563-5955 / Fax : 042-563-5969

会場案内図



【電車利用の場合】

東京メトロ東西線「東陽町」駅下車 1番出口より徒歩5分

【バス利用の場合】

1. JR 錦糸町駅または都営新宿線住吉駅より 東22系統「東京駅北口」⇔「錦糸町駅」
2. 都営新宿線東大島駅より 門21系統「東大島駅」⇔「門前仲町」
 - 1.2.とも「江東区役所」下車徒歩3分
3. 「亀戸駅通り」より 都07系統「錦糸町駅」⇔「門前仲町」
「東陽町駅」下車徒歩5分